

「如来の呼び声」

市村 孝之

振り込め詐欺の中でも、オレオレ詐欺の被害は相変わらず多いということです。この詐欺の被害に陥る原因の一つに、わかっているつもり肉親の声を、案外わかっていなかったということもあるそうです。お孫さんで言えば、離れて住んでいるので、声変わった後は実は聞いたことがなかった、などです。昨今、家族間の連絡方法がメール中心になり、電話での会話が少なくなっているということも、関係しているかもしれません。

もう一つ深く考えてみますと、たとえ同居していたとしても、家族肉親の声をどれだけ聞いているでしょうか。家に居ても自分の部屋で過ごす事が多い傾向にあれば、自然に家族の声を聞くことも少なくなるでしょう。また、会話が合ったとしても自分にとって興味のある事にしか耳が立たずでは、声そのものが届いたとは言えない状況ではないでしょうか。もちろん、このようなご家庭ばかりではないと思いますが、皆さんはどのようにお感じになりますでしょうか。

さて私たちも、日頃の仏法聴聞の場において、わが身が知らされる如来の呼び声を、自分の都合に合わせて聞法し、わかっているつもりになってはいないでしょうか。わが身が知らされるとは、都合に合わせてしかわかろうとしない自分自身が知らされるのであり、しかし阿弥陀如来はそのままに救い摂ってください、そこにお念仏が自然と口から溢れ頭が下がるのではないのでしょうか。

何を如来の呼び声とし、どのように聞き開いていけばいいのか、問われているところがあります。